

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区子ども読書活動推進会議（第3回）
事務局（担当課）		文化商工部図書館課
開催日時		令和3年10月26日（火） 16時00分～17時00分
開催場所		オンライン開催
議 題		議題1. 第四次計画素案について 2. 今後のスケジュールについて 3. その他
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程の途上に位置づけられる会議 であるため
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程の途上に位置づけられる会議 であるため

出席者	委 員	会 長 小池 章一 文化商工部長 副会長 兒玉 辰哉 教育委員会事務局教育部長 会 員 活田 啓文 区民部地域区民ひろば課長 " 長澤 義彦 文化商工部学習・スポーツ課長 " 小澤 さおり 子ども家庭部子ども若者課長 " 小野 義夫 教育委員会事務局教育部放課後対 策課長 " 佐藤 洋士 池袋本町小学校長 " 山本 聖志 明豊中学校長 " 倉本 彩子 文化商工部図書館課長
	事 務 局	図書館課 計画調整グループ係長 坂本 恵 計画調整グループ主任 新里 江美

## (開会)

会長：第2回会議では、素案の（案）についてご意見をいただきました。

これまでの検討状況を、9月30日の豊島区図書館経営協議会（第1回）、10月12日の教育委員会にて、協議した。協議結果については、後ほど議題のなかで事務局より報告する。

第3回会議では、図書館経営協議会、教育委員会のご意見を踏まえ、素案を固めたい。関係各課長・校長先生方には、各方面から忌憚のないご意見をいただきたい。

### 議題1 第四次計画素案について

（事務局より、資料3-1、3-2、3-3、3-4について説明）

会長：資料3-3で、3点ほど変更点の説明があった。1点目はサブ理念の追加、2点目は学校図書館を基軸とした事業の追加、3点目は学校や地域図書館の活用頻度を数値目標として追加したことである。

議題1について、質問、意見を伺いたい。

B 会員：基本理念は、豊島区基本計画・豊島区生涯学習推進ビジョンに位置付けられている「生涯学習」の部分が前面にでている。

サブ理念を入れることによって、「生涯学習」の中の「子どもの読書活動推進」の計画であるということが改めて明確になって良いと思う。

G 会員：私は、図書館経営協議会の委員でもある。第1回図書館経営協議会の際に、子どもたちの情報を読み解く力、情報リテラシーを育てることの重要性との関連の中で、学校司書の配置等も含めた学校図書館の果たす役割が大きいという意見が大変多く挙げられた。先ほど、学校図書館を基軸とした事業を追加するとの説明があったが、小中学生がどこで図書に触れる機会が多いか、と考えたとき、学校図書館を基軸とした事業の追加は、小中学生の読書活動の推進という意味において、重要であると感じた。

C 会員：子ども若者課では、「豊島区子ども・若者総合計画」に基づいて、子どもの居場所の充実に取り組んでいる。子ども家庭部の施設のみならず、読書活動をしながら子どもが安心・安全にいられる場所として、図書館についても取り組んでいただきたいと思っている。現在も地域図書館から、「気になる子がいる」との情報を子ども若者課や中高生センタージャンプ等にいただいている。現在も連携させていただいているが、今後も居場所として検討してほしい。その為、今回の数値目標

に学校や地域の図書館の活用頻度を入れることは重要だと思っている。

H 会員：子どものための計画だと分かるようにサブ理念を追加したとのことだが、言葉の据わりが悪いように感じる。「あらゆるところで、子ども一人ひとりが素晴らしい本と出会える読書環境を目指して」とあるが、「あらゆるところ」とは何処か。また、「子ども一人ひとりが」の「一人ひとり」がすっきりしない。例えば、「すべての子どもが素晴らしい本と出会える読書環境を目指して」といった、キャッチフレーズのような文言に整理可能であれば、変更したほうが良いのではないかと感じた。

会長：議題1について、サブ理念の追加、学校図書館を基軸とした事業の追加、学校や地域図書館の活用頻度を数値目標として追加することについては、概ね同意をいただいたが、サブ理念の文言について、H 会員より、表現をすっきりさせたほうが良いとのご提案をいただいた。各委員のご意見を踏まえて事務局と調整の上、会長一任で素案の最終案を確定するということでよろしいか。

(了承)

## 議題2 今後のスケジュールについて

(事務局より、資料3-5を説明)

会長：タイトなスケジュールだが、11月4日の図書館経営協議会までに、教育委員会と調整中の内容についても文章を作成し、各会員に確認をしていただく予定だが、ご容赦いただきたい。

## 議題3 その他

(事務局より、次回の推進会議、本日の議事録について説明)

会長：質問、意見があれば伺いたい。

I 会員：先ほどH 会員よりご意見をいただいた、サブ理念について、時間が許せばここで方向性を決めていただきたいと考える。サブ理念は、事務局でも悩んだ部分である。現在改定作業中の「豊島区立図書館基本計画」にも「にぎやかな公共図書館を目指して」というサブ理念があり、それと同じような形で、なおかつ、子どもの計画だということが分かるものにしたい、と考えたものである。ただ、H 会員よりご提案いただいた「すべての子どもが素晴らしい本と出会える読書環境を目指して」という文言は、シンプルだが非常に分かりやすく、事務局としてありがたいご意見だと思っている。もしよろしければ、H 会員のご提案にさせていただけないだろうか。

C 会員：現在「豊島区基本計画」の後期基本計画を策定しているが、その中の子どもに関

する部分でも「すべての子どもたち」という文言を使用しているので、H 会員の提案が良いと思った。「すべての子どもが素晴らしい本と出会える読書環境を目指して」という言葉に直すことに賛成する。

会長：各会員この内容に肯定的かと思う。先ほど会長に一任していただく、と発言したこともあるので、早急に文言を修正し、各会員に確認していただけるように進めていく。

会長：以上で、第三回子ども読書活動推進会議を終了とする。

(終了)

<p>会 議 の 結 果</p>	<p>1. 第四次計画の素案について了承する  2. 今後のスケジュールについて了承する  3. 第四回会議の開催日程、サブ理念の文言について了承する</p>
<p>提出された資料等</p>	<p><b>【配付資料】</b>  次第  3-1 豊島区図書館経営協議会（第1回）委員意見の概要  3-2 豊島区教育委員会（第9回定例会）委員意見の概要  3-3 豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）素案 主な変更点  3-4 豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）素案  3-5 豊島区子ども読書活動推進計画策定スケジュールについて</p>
<p>そ の 他</p>	<p>なし</p>